

施設名		京都府立青少年海洋センター							
施設概要	所在地	京都府宮津市宇田井小字大池382			設置年度 昭和57年度				
	設置目的	青少年に、海洋活動を通じて心身を鍛練する場を提供し、その健全な育成に寄与する。							
	経過	H15 フィールドアスレチック全面改修(45,149千円) H27 トイレ洋式化(14,349千円)、研修棟屋上防水改修(25,259千円)、貯湯槽改修(7,452千円)、 宿泊棟リーダー室洋室化(1,966千円)、防災用発電機更新(10,616千円) H29 野外炊事施設整備、海の科学館改修(ボルダリング場・トレーニング場整備、階段昇降機改修)、 蓄電池更新、耐震診断、カッター1隻増設(3→4隻)、救助艇更新 他(112,256千円) R2 研修棟空調設備改修、受変電設備改修、給水設備改修(137,577千円)							
	施設機能	主要設備			主な利用料金(条例上限額)				
		講堂	メモ台付き椅子180席 長机約150名			小中高 全日 7,440円 午前 2,340円 午後 2,950円 夜間 2,950円 一般 全日 14,890円 午前 4,690円 午後 5,910円 夜間 5,910円			
		研修室	第1、2 約40名			小中高 全日 3,060円 午前 910円 午後 1,220円 夜間 1,220円 一般 全日 6,120円 午前 1,830円 午後 2,440円 夜間 2,440円			
		研修室	第3、4 約20名			小中高 全日 2,040円 午前 610円 午後 810円 夜間 810円 一般 全日 4,080円 午前 1,220円 午後 1,630円 夜間 1,630円			
		宿泊室	5ブロック(研修生室1~4号室10名 リーダー室5名)/ブロック			小学 710円 中学 910円 高校 1,220円 一般 2,340円			
		その他	野外炊事施設			児童等 250円(団体は200円)、一般 440円(団体は360円)			
		その他	トレーニング場			児童等 150円(団体は120円)、一般 250円(団体は200円)			
その他		ボルダリング場			児童等 200円(団体は160円)、一般 350円(団体は280円)				
その他	フィールドアスレチックコース			児童等 200円(団体は160円)、一般 350円(団体は280円)					
施設構造種別	鉄筋コンクリート			延床面積	6,289.66		m ²		
交通アクセス	宮津駅より車で約15分(路線バス 1日に片道2本運行)								
営業時間・営業日	営業時間	9:00~21:00			休業日	12月28日~1月4日。 毎月第1月曜日及び第3月曜日。(4月~9月は休業日を設けない) ただし月曜日が祝日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日			
	指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	公益社団法人京都府青少年育成協会							
指定管理者制度の導入施設の場合、その管理者	指定期間	平成30年4月1日~令和5年3月31日			所在地	京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館3階			
	選定方法	公募			業種	青少年育成府民運動の推進			
	年度	H29	H30	R元	R2	R3	R4予算		
収支と人員配置	収支実績(単位:千円)	指定管理(施設運営)業務	支出合計	111,639	111,256	112,751	102,897	110,443	108,076
			人件費	46,523	47,888	48,550	48,379	50,066	40,538
			物件費	65,116	63,368	64,201	54,518	60,377	67,538
			収入合計	110,904	110,445	110,383	116,997	105,458	108,076
			利用料金収入	16,659	20,829	21,712	3,348	5,545	19,739
			その他収入	8,651	7,031	5,322	3,177	1,660	4,223
			府支出額(一般財源)	85,594	82,585	83,349	110,472	98,253	84,114
			収支	▲735	▲811	▲2,368	14,100	▲4,985	0
			備考	R2、R3の府支出額には、指定管理料のほか、新型コロナウイルス感染症による施設利用収入の減に係る支援金が含まれる(R2:26,203千円、R3:14,139千円)。 R4予算の人員費はR3に1名退職したことを考慮。 その他収入(食堂収入+物品売上収入+雑収入)					
			自主事業	支出合計	0	0	0	0	0
	人件費								
	物件費								
	収入合計	0		0	0	0	0	0	
	利用料金収入								
	その他収入								
収支	0	0	0	0	0	0			
備考	※チャレンジ漁業体験、親子で野外炊事、家族利用デー等の自主事業を実施 ※自主事業と一体的に決算を行っており、区分が困難								
人員配置(単位:人)	役職員数	計	6	6	0	0	0		
		常勤	6	6	0	0	0		
		非常勤	3	0	3	0	0		
		計	9	6	3	0	0		
うち府派遣	0	0	0	0	0	0			
施設建設時の財源内訳(単位:千円)	建設費	2,039,604千円 (うち府費1,929,604千円、国庫補助110,000千円)							
利用状況	利用者数	H29年度	49,893 人		ピーク時	平成7年度 106,759 人			
		H30年度	62,585 人		主要設備利用率(令和3年度)	宿泊室	7.4%		
		R元年度	63,767 人			研修室	1.3%		
		R2年度	10,782 人		利用率算出方法	年間利用数/年間利用可能数			
		R3年度	19,975 人						
	利用者の特徴	地域性	宿泊者のうち府内利用者は49%(R3年度)			年齢層	小・中・高の利用が85%(R3年度)		
用途		海洋体験学習			その他(時期等)	4月~9月の利用が49%(R3年度)			
コスト負担	府負担コスト(令和3年度)	利用者1人あたりコスト(府支出額/利用者数)	4,919 円		府負担割合(府支出額/収入総額)	93.2%			
	延床面積コスト(令和3年度)	1m ² あたりコスト(指定管理支出計/延床面積)	17,559 円						
	今後5年以内の建替え、耐震補強、大規模修繕等	必要性(有○無○)	内容・見込額(単位:百万円)		予定なし				
	建替え等の実施時期(見込)	年頃	内容・見込額(単位:百万円)		予定なし				
主な代替・類似施設	るり溪少年自然の家(宿泊定員:300人)、国立若狭湾青少年自然の家(宿泊定員:300人)								